

令和4年度 厚生労働省委託事業  
在宅医療関連講師人材養成事業 研修会

各論⑧

# 在宅での終末期対応

医療法人財団 はるたか会 理事長

前田 浩利

## 小児在宅患者の死亡者数（医療法人財団はるたか会）

- 死亡：**241例**（1999/4～2019/12）

- 在宅での看取り：**101例**（42%）

- 死亡患者の疾患

  - 悪性腫瘍：**87例**

  - （自宅看取り66人 76%）

  - 非悪性腫瘍：**154例**

  - （自宅看取り39人 25%）

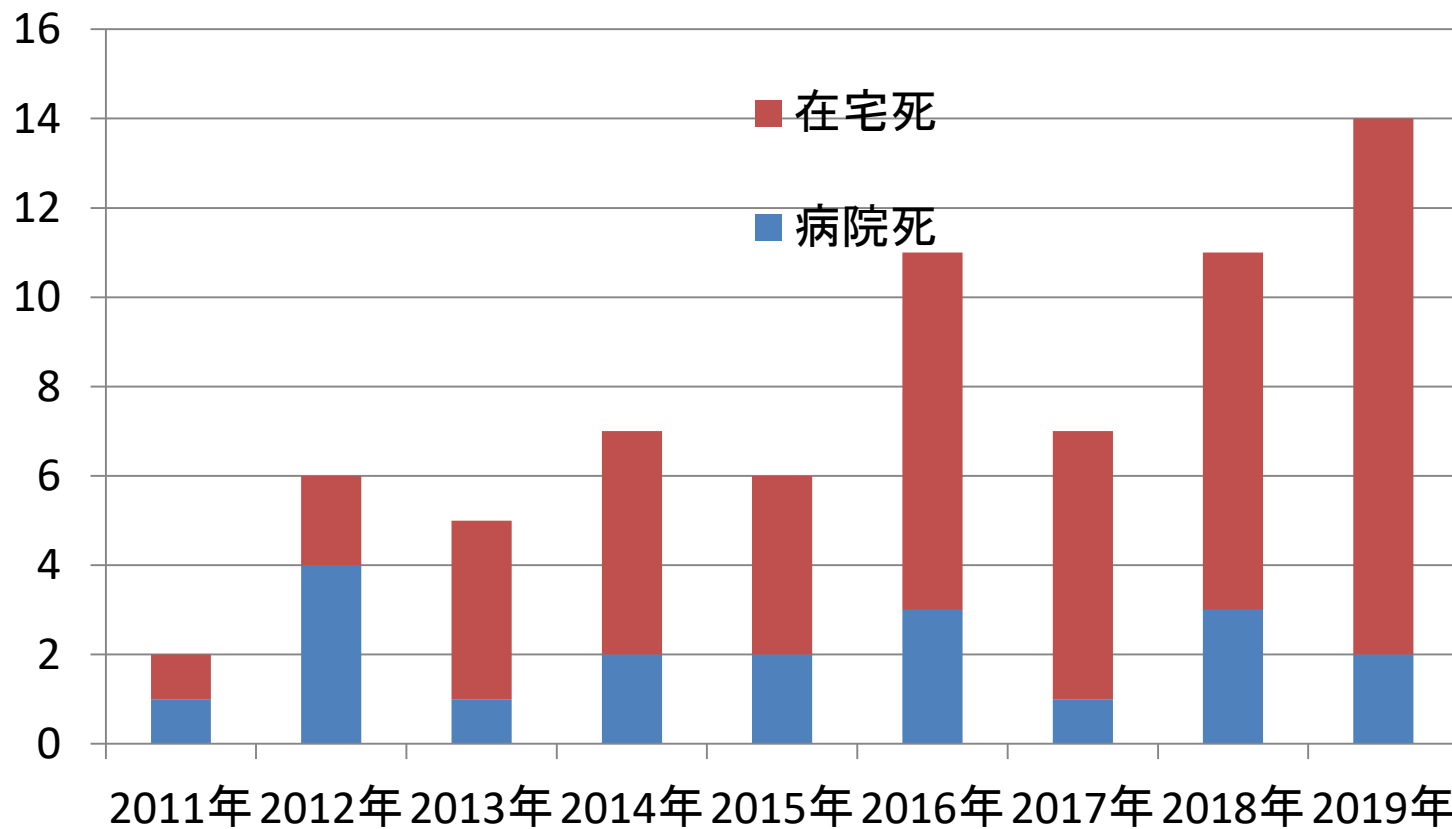
# 日本の在宅看取りの実情

2017年のがん死亡 37.8万人（全死亡134.4万人）全死因で第1位

2017年	がん死	全死因
病院 (緩和ケア病棟含む)	84%	71.1%
緩和ケア病棟	13.4%	3.7%
施設(老人保健施設、 老人ホーム)	3.5%	9.9%
自宅	11.7%	13.2%

在宅緩和ケアの充実⇒在宅死を増やす、施設死亡を増やす  
緩和ケア病棟の在院日数の短縮  
現在39.5日(一般病棟は17.5 全病床でも平均31.2)

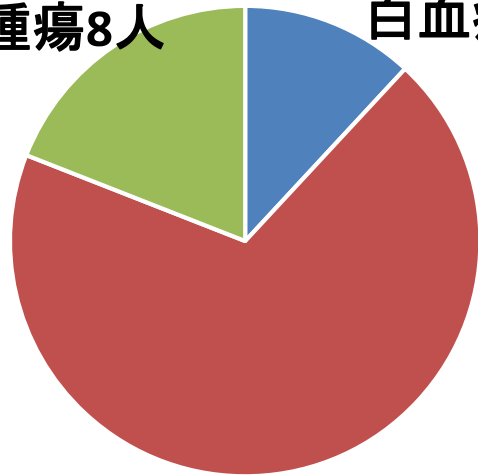
# 医療法人財団はるたか会のがんの子ども在宅看取り数の推移



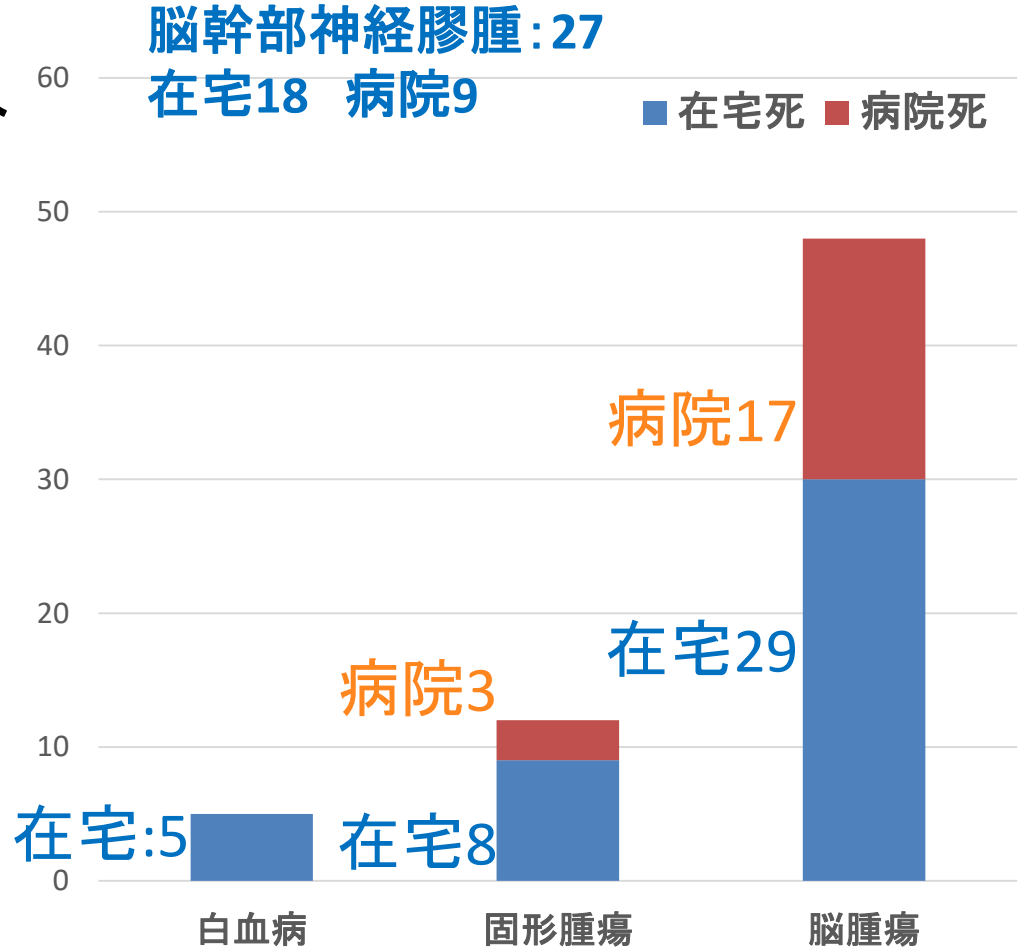
# 医療法人財団はるたか会のがんの子ども在宅医療（1999/4~2017/12）

## 疾患別の在宅看取りと病院死の割合

自宅でお看取りした子ども44人  
固形腫瘍8人 白血病5人



脳腫瘍29人  
(脳幹部神経膠腫  
18人含む)



## 小児在宅緩和ケアの特徴

- 小児在宅緩和ケアの中でがん疾患の重要性は高い
- がんの中でも、小児のがんで最も多い白血病は在宅緩和ケアに至るケースが少なく、脳腫瘍のケースが多かった
- 小児在宅緩和ケアにおいてがんの方が非がんより在宅看取り数が多く、これは成人の場合と同様の傾向
- 当院で経験したケースでは多彩な薬剤を用い、症状コントロールが非常に困難なケースが多かった。また、家族が治療を諦めきれず、緩和ケアへのギアチェンジが困難で、訪問看護導入が困難。訪問リハビリの導入から行くとスムーズにいくことが多い。

# 緩和ケアの特徴

- 病のキユア（治癒）ではなく、症状の緩和を第一目標とする。
- 死ぬ事ではなく、残された時間をより良く生きることを大事にする。
- 患者の生活の重視
- 家族ケアの重視
- コミュニケーションの重視

# WHOの小児緩和ケアの定義

- 小児のための緩和ケアは特別なものである一方で、成人に対する緩和ケアとも密接に関連している。WHO(世界保健機関)は小児とその家族に対して適切な緩和ケアについて、以下のように定義しており、これらは**原則的に小児の慢性疾患について適応される**。
- 小児緩和ケアは子どもたちの**身体、精神、spiritに対するトータルケア**であり、**家族への支援**も含まれている。
- **病気の診断の時からはじまり**、子どもたちが病気に対する直接の治療を受けているか否かにかかわらず継続される。
- 医療者は、子どもたちの抱える**身体的、精神的、社会的苦痛**を評価し、それを緩和しなければならない。
- 効果的な緩和ケアのためには、**多くの専門分野にわたったアプローチ**を必要とする。そこには家族も含まれ、**適当な地域資源**を利用して行われるが、たとえそうした資源が限られていても緩和ケアをうまく行うことはできる。
- こうしたケアは高次医療機関でも、地域の病院でも、**たとえ子どもたちの自宅であっても提供されるべきものである**。



# A.Q.U.E.S.T

## Process of Pain Assessment in Children

### A(Assumption)

- 痛みがあると仮定する

### Q(Question in Children)

- 子ども本人に聞く

### U(Use Pain Rating Scale)

- ペインスケールを用いる

### E(Evaluation Behavior)

- 自己申告できない子どもは心拍、呼吸などを評価する

### S(Sensitive Parents)

- 両親の評価にも注意する 両親を巻き込む

### T(Take Action)

- 実際に鎮痛薬を使用する

# WHOのガイドライン（2012）：4つの原則

## using a two-step strategy

- 2段階戦略を用いる

## dosing at regular intervals (by the clock)

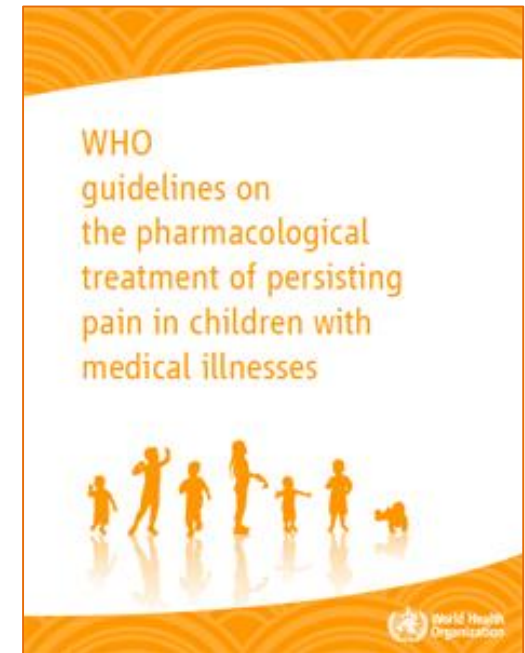
- 定期的な用法で

## using the appropriate route of administration

- 適切な投与経路で

## tailoring treatment to the individual child

- 個々の子どもに合わせた治療法で



[http://www.who.int/medicines/areas/quality\\_safety/guide\\_perspainchild/en/index.html](http://www.who.int/medicines/areas/quality_safety/guide_perspainchild/en/index.html)

# 小児の在宅緩和ケアは、 成長と発達と家族を支える 緩和ケア

